



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
学校だより 第9号  
【発行日】 令和3年3月24日  
【連絡先】 022-296-8101  
【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」=社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

## 高校での活躍も応援しています 卒業式を挙行

3月13日(土)に、中学3年生の卒業式を挙行しました。昨年に続き、新型コロナウイルス感染予防の観点から、残念ながら在校生は参加することができませんでした。体育館を広く使って、保護者の方々に参列いただけただけでも良かったと思います。

前日の金曜日が臨時休業になってしまったことにより、総練習を行えなかった

ので、礼法や所作の練習不足が心配されましたが、卒業生は呼名されると立派に返事をして、校長先生から一人一人証書を受け取っていました。

今年度は、丸1年間がコロナとの戦いでした。多くの行事が中止や縮小を余儀なくされましたが、卒業生はそんな中でも、毎日に楽しみを見つけて、精一杯頑張っていました。「できない」ことにばかり目を向けるのではなく、「どうしたらできるか」に焦点を当てて、体育祭や文化祭を行いました。そんな卒業生全員を心から誇りに思います。

証書を手に出場する卒業生の瞳には、すでに高校での目標が見えていたと思います。高校での更なる活躍を中学校職員一同、応援しています。



一人一人に卒業証書が授与されました

## 卒業のはなむけに

### 在校生からお祝いメッセージ

卒業生に感謝の気持ちを伝えるために、在校生もたいへん工夫をしました。右の写真は在校生が作成して、3年生の掲示板に掲示をしたお祝いメッセージです。中央の「祝卒業」の文字の周りにあるたくさんの葉っぱ一枚一枚に、在校生からの感謝の言葉が書かれています。「部活動では大変お世話になりました」「高校でも頑張ってください」など、温かい言葉が丁寧に書かれています。企画をした生徒会のアイデアが光る掲示でした。



在校生からのメッセージ

## 感謝の気持ちを伝えたい 予餞式を動画で作成

3月16日(火)に、二華会館で生徒会が作成した予餞式の動画上映会が開催されました。これは、12日(金)に予定されていた予餞式が、臨時休業のため延期されたものです。生徒会行事では、これまでも「朝の集い」や「生徒会役員選挙立会演説会」など、中学生が一堂に会するのが難しい行事をリモートで行ってきました。そこで得たノウハウを生かして、今回は在校生や教員からのメッセージや歌を動画にまとめました。



二華会館で動画を上映しました

在校生からの歌のメッセージは、感染予防を十分にするために、屋外でソーシャルディスタンスを十分にとって撮影が行われました。歌の間には卒業生が入学してから、今に至るまでの写真が盛り込まれ、卒業生からは「なつかしい」、「こんなことあったね」などと歓声が上がっていました。実際に顔を合わせることはできませんでしたが、在校生からの感謝の気持ちは十分に伝わったと思います。

## 先輩から学ぶ 卒業生の話を聞く会を開催



スライドを使ってわかりやすく説明してくれました

3月18日(木)に、中学2年生を対象に「卒業生の話を聞く会」を開催しました。講師役を快く引き受けてくれたのは、今年の3月に本校を卒業した先輩方です。3人の進路先は、いずれも難関と言われる京都大学教育学部、東北大学工学部、東北大学医学部医学科です。3人はそれぞれ自分の経験をパワーポイントにまとめて、写真を入れながら分かりやすく説明してくれました。

3人の説明が終わると、生徒たちからは「中学でやって良かったことは何ですか」、「不安になったときどのようにして克服しましたか」など、たくさんの質問が出

されました。その質問一つ一つに先輩方は丁寧に答えてくれました。生徒たちのワークシートには、いつにも増してたくさんのメモが書き込まれており、生徒にとってとても大きな刺激になったことがうかがえました。

進路指導は多くの場合、担任や学年主任からされることが多いのですが、先輩からの話は、自分たちの経験に重ねやすく、特に心に残ることが多いようです。また、先輩方は成功した経験はもちろんですが、失敗談も話してくれました。生徒たちはその失敗談からも多くのことを学んだようです。先輩方の話を参考に、中学時代にできることに早速チャレンジしてほしいと思います。